

編集後記

◇「物理探査の最近の話題から」と題する今月号の特集では、地質調査所の主に地殻物理学で行われている調査研究およびその関連分野の概略を紹介しました。昨年秋から準備を進めた結果、予想を越える16編の記事が集まり、編集委員会としては嬉しい悲鳴をあげたのですが、ページ数の制約で、残念ながら6編は次号送りとなりました。編集の過程で、地殻構造課の宮崎光旗課長には多大のご協力をいただきました。また、グラビアのレイアウトもそれぞれの著者にお願しました。お礼申し上げます。

◇7月号の特集「地質標本館10周年」と、8月号を予定した特集「地震と地盤」の執筆陣が決まり、編集委員会として正式な執筆依頼状を送りました。以下に、特集「地震と地盤」の内容の一部を紹介します(タイトルはいずれも仮題)。

- サンフランシスコ(ロマプリータ)地震  
.....衣笠善博(地質調査所)
- 関東-東海地域の地震とプレート運動  
.....石田瑞穂(防災センター)
- 地殻変動からみた関東平野  
.....多田 亮(国土地理院)
- 首都圏直下地震の災害とテクトニクス  
.....石橋克彦(建築研究所)
- 関東平野の基盤構造.....長谷川功(地質調査所)
- 首都圏の第四系.....遠藤秀典(地質調査所)
- 東京湾周辺の埋立地.....大嶋和雄(地質調査所)
- 地盤と防災.....片山恒雄(東京大学生産技術研究所)
- 地震の予知と防災.....小出 仁(地質調査所)

豪華な執筆陣により、興味深い誌上シンポジウムになると期待されます。

.....佐藤記.....

地質ニュース編集委員会

- 委員長: 小川克郎
- 副委員長: 佐藤興平・鈴木尉元
- 幹事: 黒田和男・尾上 亨
- 委員: 三田直樹・岡村行信・三村弘二・笹田政克・佐藤岱生・鈴木祐一郎・武居由之・山口 靖湯浅真人

事務局: 総務部業務課広報係  
〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所  
地質ニュース編集委員会  
事務局 Tel. 0298-54-3520  
Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字とし、句点(。)の次は1字あけて下さい。地質ニュースでは従来読点(,)を使っておりませんでした。今後は使用を認めます。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

地質ニュース編集委員会

■ 5月号予定目次 ■

最古の岩石—アミツォク片麻岩からアキャスト片麻岩へ  
アメリカ西部の金鉱床  
ベネズエラの鉱工業  
菅田断層周辺の地震跡  
特集「物理探査の最近の話題から」—続き

地質ニュース	第428号	1990年4月号
	定価	¥700 ー 実費
1990年4月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)265-0951 (代表)	
	振替口座 東京1-32466	
	麹町局私書箱第21号	
総発売元	株式会社実業公報社	

©1990 Geological Survey of Japan  
●本誌は東京都中央区船八重州ブックセンター本店に常備してあります。